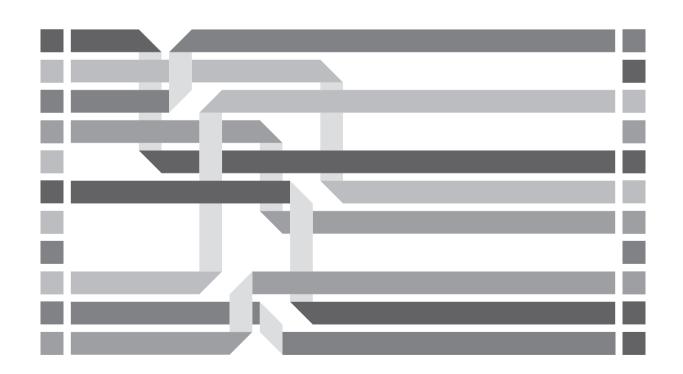
本科 2 期 10 月度



Z会東大進学教室

中3英語

中3東大英語



17章 分詞と第5文型

要点

■確認問題 1

- (1) 私は誰かが庭で歌っているのを聞いた。
- (2) あなたはトムが部屋を出て行くのに気付きましたか。
- (3) 彼女は雨の中私を待たせた。
- (4) もし君がまたそれをしているのを見つけたら、追い出しますよ。

■確認問題2

- (1) 私たちはその男性が救急車へ運ばれるのを見た。
- (2) 私は車を洗ってもらっている。
- (3) 私は自分の部屋に電話を取り付けてほしいと願っている。
- (4) 私は今すぐに音楽を消してほしい。

問題

[1]

- (1) I saw some goldfish swimming (in the pond.)
- (2) I heard him singing (a French song.)
- (3) The official kept me waiting (for an hour.)
- (4) Kate doesn't like her husband working (on Sunday.)
- (5) I saw the old man hit (by a car.)
- (6) She kept all the windows closed.
- (7) She had her hat blown off (by the wind.)
- (8) Do you want your shoes polished?

一解説

- (1) see O …ing「Oが…しているのを見る」
- (2) hear O …ing「Oが…しているのを聞く」
- (3) keep O …ing「Oが…している状態に保つ」
- (4) like O …ing「Oが…している状態を好む〔Oが…しているのが好きだ〕」, 通常, 否 定文で用いる。
- (5) see O + 過去分詞「Oが…され(てい)るのを見る」
- (6) keep O + 過去分詞「Oが…され(てい) る状態に保つ」
- (7) have O + 過去分詞「Oを…してもらう〔させる〕」<使役>

<u>「Oを…されてしまう」<被害></u> 「Oを…してしまう」<完了>

- blow off ~ 「~を吹き飛ばす」(blow-blown)
- (8) want O+過去分詞「Oが…され(てい)る状態を欲する〔Oを…してほしい〕」
 - polish ~「~を磨く」

[2]

- (1) trying「私は彼女がじゅうたんのシミを取ろうとしているのを見た。」
- (2) heard 「とても騒がしかったので、話し手の声は聞こえなかった〔話し手は自分の話が (聴衆に) 聞かれる状態にすることができなかった〕。」
- (3) burning「台所で何かが焦げているにおいがした。」
- (4) fixed「あなたはいつ時計を修理してもらったのですか。」
- (5) stolen「私は人ごみの中で財布を盗まれてしまった。」
- (6) lying「私は彼がソファーに横たわっているところを見つけた。」
- (7) raised「彼は先月給料を上げてもらった。」

(1) see O …ing「Oが…しているのを見る」

- remove ~「~を取り除く」
- trv to 動詞の原形「…しようとする |
- (2) make O 過去分詞「Oが~されるようにする」
 - so ~ that … 「とても~なので… |
- (3) smell O …ing「Oが…しているにおいがする」
- (4) have O + 過去分詞「Oを…してもらう」<使役>
 - fix ~ 「~を修理する |
- (5) have O + 過去分詞「Oを…されてしまう」 <被害>
 - wallet 「財布 |
 - crowd「群衆;人ごみ」
- (6) find O …ing「Oが…しているのを見つける」
 - lie「横たわる」(lie-lay-lain-lying)
- (7) have O + 過去分詞「Oを…してもらう」<使役>
 - salary 「給料 |
 - raise ~「~を上げる」

[3]

- (1) I found the film boring.
- (2) I had my friend record the radio program.I had the radio program recorded by my friend.
- (3) You should have this job done by tomorrow.

(1) 「私はその映画は退屈だとわかった。|

find (that) X is Y「XがYであるとわかる」

I / found / (that) the film was boring. <第3文型>

S V O

find X Y 「X が Y だとわかる |

I / found / the film / boring. <第5文型>

S V O C

(2) 「私の友人は私のためにそのラジオ番組を録音してくれた。」

I had my friend record the radio program.

「私は私の友人にそのラジオ番組を録音してもらった。」

have O+動詞の原形 <使役>

I had the radio program recorded by my friend.

「私はそのラジオ番組を私の友人に録音してもらった。」

have O+過去分詞 <使役>

(3) 「あなたは明日までにこの仕事をするべきだ。」

You should have this job done by tomorrow.

「あなたは明日までにこの仕事を済ませるべきだ。」 have O 過去分詞 $\lceil Oe \cdots$ してしまう $\mid <$ 完了 >

[4]

- (1) I don't want to have my tooth pulled out. (pulling が不要)
- (2) I saw her drawing a picture in the park. (drawn が不要)
- (3) She had her right leg broken in the match. (made が不要)
- (4) I have heard French spoken in Canada. (speaking が不要)
- (5) He managed to make himself understood in English. (understand が不要)
- (6) I'd like my egg boiled. (boiling が不要)

- (1) have O +過去分詞「O を … されてしまう」
 - pull out ~「~を引き抜く」
- (2) see O …ing「Oが…しているのを見る」
 - draw ~「~を描く」
- (3) have O + 過去分詞「Oを…してしまう」(完了)
- (4) hear O+過去分詞「Oが…され(ている)のを聞く」
- (5) make O + 過去分詞「Oを…された状態にする」
 - manage to +動詞の原形「どうにか~する」
- (6) like O + 過去分詞「Oが…された状態を好む」

[5]

- (1) I had my bicycle repaired [fixed] by him.
 I had him repair [fix] my bicycle.
- (2) His brother had his right arm broken in the accident.
- (3) The other day I saw my teacher walking towards Ochanomizu Station.
- (4) He felt his heart beating violently.

- (1) have + O + 過去分詞 「Oを…させる」have + O + 動詞の原形 「Oに…してもらう」
- (2) have O + 過去分詞「Oを~されてしまう」
- (3) see O …ing「Oが…しているのを見る」
- (4) feel O …ing「Oが…しているのを感じる」

[6]

- (1) ①もっと勉強をしてほしいと思っている。
 - ②ダイスケの家に行ってそのゲームで一緒に遊んだ先週。
- (2) 1 ゲームのおかげで、家族の会話が増えたこと。 2 ゲームのおかげで、ボブが運動(スポーツ)への関心を強めたこと。
- (3) ア,オ,キ

- (1) ①5行目の You have to study more 参照。
- (2) 下線部の前々、前文を参考にすること。Also とあるのでその前後の2つだということがわかる。
- (3) ア「ボブは新しい種類のゲームを買って一緒に楽しみたいと両親に頼んだ。」

2行目で「家でもっと楽しいことがあるべきだと思わないの?」とボブは家族に言っており、言いたいことがよく分からないと言われた後もう一度「えーと、とても刺激的なビデオゲームを見つけたんだ!だから…」と言っている。ここから、ビデオゲームを買って、家で家族と一緒にしたいと判断できる。この So…の省略を考えなければならない。

- **イ**「ボブの母親はボブは健康のためにスポーツをすべきだと思った。」
- 6 行目 "It's bad for your health." と言っているのは父親である。
- **ウ**「ボブの両親はダイスケの両親よりもその新しいゲームに興味を持った。」 特に記述がないので本文とは合致しないと考える。
- **エ**「その新しいゲームのキャラクターがスクリーン上で動くときにあなたもそのように動かなければならない。
- $10\sim11$ 行目 When you move \sim .では「ゲーム機とつながったボード(板)の上で動くと、画面上のキャラクターが同じように動くんだ。」とある。画面の動きに合わせるのではなく、動いた通りに画面のキャラクターも動くので本文とは異なる。
- **オ**「そのゲームは子どもから大人までたくさんの人に愛されている。」
- 16 行目参照。
- **カ**「ダイスケの父親は息子とスポーツをして健康になった。」
- 19~20行目に「彼の父親は痩せた」とあるが「健康になった」との記述はない。
- **キ**「ボブはその新しいゲームがどのくらいの値段であるか知っていた。」
- 19 行目参照。
- **ク**「ボブの両親はビデオゲームをするのがよいことだと思っていなかったのでボブは その新しいゲームを買うことができなかった。」
 - 19 行目からの文を参照。実際にゲームを購入したので本文と合致しない。

昨年,ボブの家族は日本にやってきて,彼は今,日本の高校へ通っている。ある日,彼は両親に,「家でもっと楽しいことがあるべきだと思わないの?」と言った。父親は,「どういう意味だい?」と答えた。「えーとね,とてもおもしろいビデオゲームを見つけたんだ。あんな楽

しいゲーム、今までに見たことないよ!だから…」「だめよ」と彼の母親は言った。「本当にほしいと思っているの?大体、そんなゲームをやっている時間なんてないでしょ。もっと勉強しなさい。」そして父親は、「それは体に悪いよ。スポーツをするのはどうだい?」と言った。ボブは、「そのゲームは体にいいと僕は思うよ。ゲームの中でスキーだって出来るし。本当におもしろいんだって!」父親は驚いた。「それはどんな種類のゲームなんだい?もっと説明してみなさい。」

先週,ボブは友人のダイスケを訪れて、一緒にあるビデオゲームをした。それは新しい種類のゲームで、ほかのゲームとまったく違ったものだ。ゲーム機とつながったボードの上で動くと、画面上のキャラクターが同じように動くのだ。例えば、ボードの上で片足で立つと、キャラクターも同じようにする。機械のリモコンを手に持つかポケットに入れてボードの上を走ると、キャラクターはジョギングをはじめる。こうして、40種類の運動、例えば、スキー、ジョギング、ヨガ、そして筋力トレーニングまでも、画面上で、家族や友達と楽しめるのだ。だから、子どもたちだけでなく大人たちにも人気なのである。

ボブは両親にそのゲームについて話をした。ボブの話を聞いた後、父親はゲームに興味を持った。すぐさま母親は、「高いんでしょ?」と尋ねた。「そんなに高くないよ。1万円以下だって。ダイスケは親と一緒に毎日やってるってさ。お父さんはやせたんだって。お母さんもやせたいんじゃないの?」とボブは言った。母親はそれがとてもいいとは思っていないが、今や家族でたくさんの種類の運動をそのゲームを使って家で楽しんでいる。このゲームのおかげで、お互いに以前より話すようになった。また、ボブはもっとスポーツに関心を持つようになった。だから、父親はゲームに満足している。

リスニング演習

Script

- ① spring vacation ② seven ③ September
- 4 during 5 zoo 6 uncle 7 stay

Tom : Hi, Aya. Did you enjoy your spring vacation?

Aya : Yes, I did. I went to a park in Wakayama with my family because I wanted to see the pandas.

Tom: Wow, that's great. How many pandas are there in the park?

Aya : There are seven. Two babies were born last September, and they are so cute. Why don't you come with me to see some pandas during our next summer vacation?

Tom : Sounds good! We can see pandas in a zoo in Kobe. My uncle lives in Kobe. Let's stay at his house and go to see the pandas!

トム:やあ、アヤ。春休みは楽しめた?

アヤ:ええ。パンダが見たかったから、家族と和歌山の公園に行ったの。

トム:わあ、いいなあ。公園には何頭のパンダがいるの?

アヤ:7頭よ。2頭の赤ちゃんが去年の9月に生まれて、とてもかわいいの。今度の夏休み、 わたしと一緒にパンダを見に行かない?

トム:いいねえ! 神戸の動物園でパンダが見られるよ。ぼくのおじさんが神戸に住んでいるんだ。おじさんの家に泊まって、パンダを見に行こう!

添削課題

[1]

- (1) She felt something crawling (on her back.)
- (2) My father left the engine running.
- (3) She has the water running (to shampoo her hair.)
- (4) I don't want you speaking (ill of others.)
- (5) Didn't you hear your name called?
- (6) Peter found the book stolen (from his library.)
- (7) I had my hair cut (at the barber's.)
- (8) I can't get the machine started.

解説

- (1) feel O …ing「Oが…しているのを感じる」
 - crawl「這う」
 - back「背中」
- (2) leave O …ing「Oが…している状態で放っておく」
 - run 「(機械が) 作動する |
- (3) have O …ing「Oが…している状態にさせておく」
 - run「(水が)流れる」
 - to shampoo her hair「髪を洗うために」不定詞の副詞的用法(「目的」)である。
- (4) want O …ing「Oが…している状態を欲する〔Oに…していてほしい〕」通常、否定文で用いる。
 - speak ill of ~「~の悪口を言う」
 - others「他人・ひと」
- (5) hear O + 過去分詞「Oが…され(てい)るのを聞く |
- (6) find O+過去分詞「Oが…され(てい)るのを見つける [に気付く]」
 - steal ~ 「~を盗む」(steal-stole-stolen)
- (7) have O+過去分詞 $\left\{\begin{array}{c} \lceil O を \cdots \cup C + \delta \circ \rangle \\ \lceil O E \cdots \otimes C \rangle \end{array}\right\} < (20)$ $\left\{\begin{array}{c} (7) \otimes (2) \otimes (2)$
 - barber 「理髪師 |
- - start ~ 「~を始動させる |

[2]

备逻:

東京に住んでいたころ (何年も前のことであったが), 私はよく神田に行ったものだった。 というのもそこには古本屋があるからだ。本屋の棚は英語の本でいっぱいだった。それらの本 の多くは、最初の 2, 30 ページは余白に鉛筆で書き込みが一杯してあり、何十もの単語や句に 下線が施してあった。

- used to 動詞の原形「かつてよく…したものだった」
- be full of ~ 「~でいっぱいである |
- fill A with B 「A を B で満たす」
- dozens of ~「何十もの~」 underline ~「~に下線を引く」
- $\ell \ell. 1 \sim 2 \circ \cdots$, where the second-hand bookshops are.
 - $= \cdots$, for the second-hand bookshops are there.

「…だ、というのもそこには古本屋があるからだ」

関係副詞の非制限用法である。

 ℓ ℓ . $3\sim4$ \circ The first twenty or thirty pages of many of them **had** their margins **filled** with pencilled notes

「それらの本の多くの最初の2.30ページは余白を鉛筆の書き込みで一杯にされていた」

18章 原形不定詞と第5文型

要点

■確認問題 1

- (1) 私を待たせるな。
- (2) 私は子供たちが遊ぶのを見ていた。
- (3) ジョージは弟〔兄〕に犬たちの面倒をみてもらうだろう。
- (4) サトシは私が壁にペンキを塗るのを手伝ってくれた。

■確認問題2

- (1) I was made to clean the windows by Tom.
- (2) We were seen to run to the taxi by Lisa.
- (3) Mr. Noda was heard to talk about his new book in the café by me.

問題

[1]

- (1) I saw the newborn horse stand up (.)
- (2) Her parents made her stay (home all day.)
- (3) Her parents had her carry (the bag to the room.)
- (4) The man was seen to enter the building (by several people.)

解説

- (1) see ○+動詞の原形「○が…するのを見る」
 - newborn 「生まれたての」
- (2) make O + 動詞の原形「Oに…させる」
- (3) have O + 動詞の原形「Oに…してもらう」
- (4) be seen to +動詞の原形「…するのを見られる」(← see O 動詞の原形「Oが…するのを見る」)

<知覚動詞+O+動詞の原形>からなる「能動態」の文を「受動態」に変換すると、 <動詞の原形>ではなく< to 動詞の原形>となる点に注意しよう。

能動態: Several people saw the man enter the building.

(数名の人たちはその男が建物の中に入るのを見た。)

受動態: The man was seen <u>to enter</u> the building by several people. (その男は数名の人たちにその建物の中に入るのを見られた。)

[2]

解答

- (1) let; know
- (2) made; cry
- (3) had; translate
- (4) let; use
- (5) make; feel

make O + 動詞の原形「Oに…させる」

→相手(O)の意向など構わずにとにかくやらせる

have O+動詞の原形「Oに…してもらう」

→相手(O)が納得した上でしてもらう

let O + 動詞の原形「O に…させてやる |

- →相手(O)のやりたいようにさせてやる
- (1) 「その情報をつかんだら、できるだけ早くあなたにお知らせします」という文意が考えられるので、let がふさわしい。
- (2) 「それはとても悲しい物語だった。それは私を泣かせた〔それで私は泣いた〕」という

文意が考えられるので、made がふさわしい。

- (3)「私は兄に手紙をドイツ語に訳してもらった」という文意が考えられるので、had が ふさわしい。
 - translate A into B「A を B に翻訳する」
- (4) 「アンナはどうしても私にコンピューターを使わせてくれなかった」という文意が考えられるので、let がふさわしい。
- (5) 「暖かな太陽は患者を少し気分良くさせ始めた」という文意が考えられるので、madeがふさわしい。

[3]

- (1) make; feel
- (2) taken by him / take my picture / got; to take
- (3) makes
- (4) Let; see
- (5) seen to take
- (6) called by someone / call my name
- (7) had; done

- (1) 上段: 「水を 1 杯飲めば、あなたは気分が良くなるでしょう。」 下段: 「 1 杯の水はあなたを気分良くさせるでしょう。」
 - make O + 動詞の原形「Oに…させる」
- (2) 上段:「私は私の写真を彼に撮ってもらった。」
 - have O+過去分詞「Oを…してもらう」
 - 中段:「私は彼に私の写真を撮ってもらった。」
 - have O + 動詞の原形「Oに…してもらう」
 - 下段:「私は彼に私の写真を撮ってもらった。」
 - get O to +動詞の原形「Oに…してもらう」
- (3) 上段:「あなたはなぜそう思うのですか。」
 - 下段:「何があなたにそう思わせるのですか。」
 - make O + 動詞の原形「Oに…させる」
- (4) 上段: 「それを私に見せなさい。」
 - 下段:「私にそれを見させなさい。」
 - let O+動詞の原形「Oに…させてやる。」
- (5) 上段: 「私はうちのネコが魚を持っていくのを見た。」
 - see O + 動詞の原形「Oが…するのを見る |
 - 下段:「うちのネコは(私に)魚を持っていくのを見られた。」
 - be seen to +動詞の原形「…するのを見られる |
 - <知覚動詞+〇+動詞の原形>の文を「受動態」に変換する際は、<動詞の原形>で

はなくくto+動詞の原形>となる。

(6) 上段: 「私は自分の名前が誰かに呼ばれるのを聞いた。」

hear O+過去分詞「Oが…されるのを聞く」

下段:「私は誰かが自分の名前を呼ぶのを聞いた。」

hear O+動詞の原形「Oが…するのを聞く」

(7) 上段:「私は夕食前に宿題をした。」

下段:「私は夕食前に宿題を済ませてしまった。」

have O+過去分詞「Oを…してしまう」<完了>

[4]

- (1) My friend was heard to speak French fluently (by me).
- (2) My father made me type the letter.
- (3) The boy was seen to feed the chickens in the yard (by us).
- (4) His wife heard him drop a dish.
- (5) I was kept waiting for half an hour by the salesclerk.

(1) 能動態: 「私は私の友人がフランス語を流暢に話すのを聞いた。」

hear O+動詞の原形「Oが…するのを聞く」

受動態:「私の友人は(私に)フランス語を流暢に話すのを聞かれた。」

be heard **to** +動詞の原形「…するのを聞かれる」

<知覚動詞 + O + 動詞の原形>の文を「受動態」に変換する際は、<動詞の原形>ではなく<math>< to + 動詞の原形>となる。

(2) 受動態: 「私は父にその手紙をタイプさせられた。」

be made **to** +動詞の原形「…させられる」

能動態:「父は私にその手紙をタイプさせた」

make O + 動詞の原形「Oに…させる」

< be + 使役動詞の過去分詞 + to 動詞の原形>の文を「能動態」に変換する際は、
to +動詞の原形>を<動詞の原形>にする。

(3) 能動態: 「私たちはその少年が庭でニワトリたちに餌をあげるのを見た。」

see O+動詞の原形「Oが…するのを見る」

受動態:「その少年は(私たちに)庭でニワトリたちに餌をあげるのを見られた。|

be seen to +動詞の原形「…するのを見られる」

(4) 受動態:「彼は妻に皿を落とすのを聞かれた。」

be heard to +動詞の原形「…するのを聞かれる」

能動態:「彼の妻は彼が皿を落とすのを聞いた。」

hear O+動詞の原形「Oが…するのを聞く」

(5) 能動態: 「その店員は私を30分待たせた。」

keep O …ing「Oが…している状態に保つ」

受動態: 「私はその店員に30分待たせられた。」 be kept …ing「…している状態に保たれる」

[5]

- (1) The movie made me cry.
- (2) A good dictionary helps you (to) study.
- (3) Let me know your address as soon as you move to your new house.
- (4) I cannot get this computer started.
- (5) I've never seen him get angry.
- (6) I heard someone enter the next room.
- (7) The teacher kept (left) the students standing in front of the door.
- (8) You shouldn't keep (leave) your dog tied to the gate.

解説

- (1) make O + 動詞の原形「Oを…させる」
- (2) help O (to) +動詞の原形「Oが…するのを助ける」
- (3) let O + 動詞の原形「Oに…させてやる」
- (4) get + O + 過去分詞「Oが…され(てい)る状態にする |
- (5) see ○+動詞の原形「○が…するのを見る」
- (6) hear O + 動詞の原形「Oが…するのを聞く」
- (7) keep O …ing「Oが…している状態に保つ」 leave O …ing「Oが…している状態に放置する」
- (8) leave O + 過去分詞「Oが…されたままにしておく |

[6]

ベーブ・ルースは自分の仕事に対して多くの金を要求した最初の野球選手だった。彼は自 分がどんなに人気があるか、またチームが自分なしではやっていけないことが分かっていた。 彼は大勢のファンが自分のプレイを見るために金を払うのを見たのだった。

- Babe Ruth 「ベーブ・ルース (1895-1948)」
- ask for ~ 「~を求める |
- do without 「~なしでやっていく |
- crowd「群衆・多数」
- ℓ.1 the first baseball player to ask for a lot of money for his work 「自分の仕事に対し て多くの金を要求した最初の野球選手」不定詞の形容詞的用法である。
- ℓ . 2 \circ He saw crowds of fans pay money 「大勢のファンが金を払うのを見た|
- ℓ.3 to see him play 「彼がプレイするのを見るために」不定詞の副詞的用法(「目的」) である。

リスニング演習

- ① バスケットボール部のキャプテン〔部長〕 ② 月曜日から金曜日
- ③ 部室をたずねてきてください

② CD 5

Script

I am captain of the basketball club. There are fifteen girls in the club, and we'll be glad if you join our team. We practice basketball in the school gym from Monday to Friday. Practice ends at 6:30 in summertime, and at 6:00 in wintertime. We play in five tournaments a year, and we won the Minami City Basketball Tournament last year. If you want to play with us, please visit our clubroom after school. We also welcome beginners.

わたしはバスケットボール部のキャプテンです。部員は女の子が15人です。あなたたちが入部してくれるととても嬉しいです。月曜日から金曜日まで学校の体育館でバスケットボールを練習しています。練習は夏は6時30分に,冬は6時に終わります。1年に5つの大会があって、昨年はミナミ市バスケットボール大会に優勝しました。わたしたちと一緒にプレーしたければ、放課後わたしたちの部室をたずねてきてください。初心者も歓迎です。

- ① captain of the basketball club は、「バスケットボール部のキャプテン〔部長〕」。
- ② いつ練習しているのかを聞き取ればよい。We practice basketball in the school gym from Monday to Friday. (月曜日から金曜日まで学校の体育館でバスケットボールの練習をしています。) とあるので、「月曜日から金曜日」に練習している。
- ③ 入部希望者への呼びかけの部分なので、If you want to play with us(もしわたしたちと一緒にプレーしたければ)のあとを日本語でまとめればよい。

添削課題

[1]

- (1) Have you ever heard him speak (English?)
- (2) I felt something touch (my shoulder.)
- (3) Her parents let her go (to the movies.)
- (4) My father sometimes helps my mother cook (dinner.)

解説

- (1) hear + 動詞の原形「○が…するのを聞く」
- (2) feel O+動詞の原形「Oが…するのを感じる」○ shoulder 「肩」
- (3) let O + 動詞の原形「O に…させてやる」
- (4) help O (to) +動詞の原形「Oが…するのを手助けする」

[2]

解答

- (1) cry
- (2) clean
- (3) to bring
- (4) play
- (5) to do
- (6) developed
- (7) find

- (1) 「何が彼女を泣かせたのか〔なぜ彼女は泣いたのだ〕。」 make () 動詞の原形「()に…させる |

(2) 「彼女は息子たちに台所掃除をしてもらった。」 have O 動詞の原形「Oに…してもらう」

- (3)「私は息子にその荷物を運んでもらおう。」
 - get O to 動詞の原形「Oに…してもらう」[= have O 動詞の原形] get の場合は < to 動詞の原形>となる点に注意。
- (4) 「私はポーリーがフルートであの歌を演奏するのを聞いた。」

hear O 動詞の原形「Oが…するのを聞く」

(5) 「ジョージは昨日、その仕事を全部させられた。」

be made to 動詞の原形「…させられる」(← make O 動詞の原形「Oに…させる」)

<使役動詞+0+動詞の原形>からなる「能動態」の文を「受動態」に変換すると,<動 詞の原形>ではなく< to 動詞の原形>となる点に注意しよう。

能動態: They made George do all the work yesterday.

(彼らは昨日、ジョージにその仕事を全部させた。)

受動態: George was made <u>to do</u> all the work yesterday (by them). (ジョージは昨日, (彼らに) その仕事を全部させられた。)

- (6) 「シンディーは彼女の写真を現像しているところだ。」get O 過去分詞「Oを…してもらう」<使役>○ develop ~ 「~を現像する」
- (7) 「ジュンは私がその本を見つけるのを手伝ってくれた。」 help O (to) 動詞の原形「Oが…するのを手助けする」

[3]

- (1) My father never lets me drive. (lets が不足)
- (2) Shall I help you carry the chairs? (Shall が不足)
- (3) The flu made me stay in bed. (made が不足)

解説(1) let O+動詞の原形「Oに…させてやる」

- (2) help O + 動詞の原形「Oが…するのを助ける」
 - Shall I 動詞の原形?「(私が) …いたしましょうか」
- (3) make O + 動詞の原形「Oに…させる」
 - flu「インフルエンザー

19章 分詞構文①

要点

■確認問題 1

- (1) Feeling sick, I left school early.
- (2) Lying on the beach, I saw Bob walking by.
- (3) Seen from the side, the rock looks like a human face.
- (4) Using the computer, you can finish it quickly.

- (1) 具合が悪かったので、私は学校を早退した。
- (2) 浜辺に寝そべっている間に、ボブが歩き過ぎる〔通りかかる〕のを見た。
- (3) 横から見ると、その岩は人の顔のように見える。
- (4) もしコンピュータを使えば、あなたはそれをすぐに終えられますよ。

■確認問題2

- (1) 暇な時間がたくさんあったので、ナオミは町を見て回った。
- (2) 人ごみを歩いている時に、私は財布をなくしてしまった。
- (3) 彼は毎晩1時過ぎまで、宿題をしながら起きている。
- (4) このスピードを保てば、私たちは1時間でそこに着くでしょう。

■確認問題3

解答 |||||||||||||||

- (1) Having forgotten the key, we couldn't open the door.
- (2) Having already read the book, you'll probably find the lecture boring.
- (3) Having worked as a clerk for many years, she is good with numbers.

■確認問題4

- (1) Not having any previous experience, I have little chance of getting the job.
- (2) Having never showed up for the previous meetings, he didn't know what was going on. [Never having showed up for the previous meetings, he didn't know what was going on.]

問題

[1]

- (1) Knowing the song, (I was able to sing it with them.)
- (2)(Being) Seen from a distance, (the house looks like an old castle.)
- (3) Admitting that he is a man of ability, (I can't trust him.)
- (4) (The girl), closing her eyes, (listened to the radio.)

(3) ○ a man of ability「有能な人物(= an able man)」

[2]

- (1) 公園でジョギングしていて、私は虹を見た。
- (2) アメリカ人と比べ(られ)ると、イギリス人は保守的だ。
- (3) 車にはねられ、その老人は両脚を骨折した。
- (4) 読書は人間の英知を養い、多くの面でその人生を豊かにする。
- (5) 彼に以前会ったことがあるので、私は彼の顔がわかる。
- (6) 人前で話すのに慣れていなかったので、彼はあがってしまった。

解説

- (1) = When (While) I was jogging in the park, I saw a rainbow.
- (2) = When they are compared with the Americans, the English are conservative. 受動態の表現を分詞構文にしている点に注意。このとき being は省略するのが普通である。

- (3) = As (Since, Because) he was hit by a car, the old man broke his legs. 受動態の表現を分詞構文にしている点に注意。このとき being は省略するのが普通である。
- (4) = Reading cultivates man's wisdom, and enriches his life in many ways.
- (5) = As (Since, Because) I have met him before, I know his face. 分詞構文の部分が完了形である点に注意。
- (6) = As (Since, Because) he was not used to speaking in public, he became nervous. 分詞構文の部分が否定形である点に注意。
 - be used to …ing「…するのに慣れている」
 - in public「人前で」
 - nervous 「神経質な;緊張した |

[3]

- (1) Having lost our way, (we went to the information to ask for directions.)
- (2) Having eaten too much, (he feels sick.)
- (3) Having lived in Hong Kong, (she knows about it well.)

- (4) Not knowing the way, (I asked him for directions.)
- (5) Not having spent the money. (I still have it.)
- (6) Not having seen the bird, (I can't recognize it.)

- (1) もとの従属節が完了時制なので、完了形の分詞構文(having + 過去分詞)にする。
 - lose one's way「道に迷う」
 - information 「情報;案内(所) |
 - ask for ~ 「~を求める」
 - direction「説明;指示;道案内 |
- (2) もとの従属節が主節よりも明らかに先に生じた内容を表している(従属節が「過去時制」であるのに対し、主節は「現在時制」)ので、完了形の分詞構文(having + 過去分詞)にする。
 - feel sick「気持ちが悪い;吐き気がする」
- (3) もとの従属節が完了時制なので、完了形の分詞構文(having + 過去分詞)にする。
- (4) 主節も従属節も「過去時制」で表されているので、(1) や(2)と同様の基本的な分詞構文として処理できる。ただしこの従属節は「否定文」であるので not \cdots ing としなければならない。
 - ask … for ~ 「…に~を求める |
- (5) もとの従属節が主節よりも明らかに先に生じた内容を表している(従属節が「過去時制」であるのに対し、主節は「現在時制」)ので、完了形の分詞構文(having + 過去分詞)にする。
 - さらにこの従属節は「否定文」なので not having +過去分詞とする。
 - spend ~ 「(時間やお金) を費やす |
- (6) もとの従属節が完了時制なので、完了形の分詞構文(having +過去分詞)にする。 さらにこの従属節は「否定文」なので not having +過去分詞とする。
 - recognize ~「~だと見てわかる;~を認識する |

[4]

- (1) a
- (2) **b**
- (3) c
- (4) **b**
- (5) a
- (6) **b**

解説

- (1)「まっすぐ行けば、銀行が見つかりますよ。」
 - = If you go straight on, you'll find the bank.

分詞構文の基本形 (…ing) でよい。

- straight on 「そのまままっすぐに」 (on は 「そのままの方向で; そのまま先に向かって | くらいの意味。)
- (2)「アンは物音を聞き、下の階に降りていった。」
 - = Ann heard a noise, and went downstairs.

分詞構文の基本形 (…ing) でよい。

- (3) 「良い知らせに胸躍らせながら、彼は妻に電話した。」
 - = As he <u>was excited</u> about the good news, he rang his wife up. 受動態の表現を分詞構文にしている点に注意。このとき being は省略するのが普通である。
- (4) 「仕事を済ませた後〔ので〕、私たちは帰宅した。」
 - = After [As, Since, Because] we <u>had finished</u> the work, we went home. 分詞構文の部分が主節より時間的に前のことを表しているので、完了形の分詞構文 (having +過去分詞) となる。
- (5) 「どうしてよいかわからず、彼は私に助言を求めた。」
 - = As [Since, Because] he <u>did not know</u> what to do, he asked for my advice. 否定形の分詞構文は not …ing の形となる。
- (6) 「そのテレビ番組をまだ見終わってないので、私は床に就きたくない。」
 - = As [Since, Because] I <u>have not finished</u> watching the TV program, I don't want to go to bed.

完了形の分詞構文(having + 過去分詞)の否定形は、not having + 過去分詞である。

[5]

- (1) Seeing her mother, the baby stopped crying.
- (2) Written in easy English, this book is good for students.
- (3) Having done my homework, I watched TV.
- (4) Having failed many times, I don't feel like trying any more.

- (4) feel like …ing 「…したい気分である」
 - not ~ any more「これ以上~ない」

[6]

- (1) Walking in the park, I met one of my classmates.
- (2) The girl, smiling happily, came to us.
- (3) Feeling hungry, I went out for dinner.
- (4) Written in English, the magazine is hard for me to read.
- (5) Having done her homework, she began to write a letter.
- (6) Talking on the phone, he fell asleep.

- (7) Feeling sick, I decided to go home.
- (8) Never having (Having never) been to Nagoya, I don't know where the Nagoya Dome is.
- (9) This plane leaves (starts) at ten o'clock, arriving in Fukuoka at eleven.
- (10) Having lived in Japan, William can read and write Japanese.

解説

- (1) one of ~ 「~のひとつ〔ひとり〕」(~に当たる名詞は「複数形」となる。)
- (2) happily「楽しそうに」
- (3) feel + 形容詞「~な感じがする」○ go out for ~「~に出かける」
- (4) hard to 動詞の原形「…しにくい」形容詞を修飾する不定詞(副詞的用法)。ここでは「私には」とあるのでそれを<意味上の主語>として< for …>で表す。
- (6) on the phone「電話で」○ fall asleep「寝入る」
- (7) feel sick「気分が悪い」○ decide to 動詞の原形「…する決心をする」
- (8) have been to ~ 「~に行ったことがある」

[7]

解答

障子は空間を仕切るのに役立つ。閉めれば壁や障壁となり、1つの部屋さえ作り出したりする。開ければその壁や部屋は消えうせる。襖(引き戸)もまた空間をつくり出し、日本家屋の内部をとてつもなく柔軟性に富むものにしている。襖によって小さく仕切られた4つの部屋を突然1つの大きな部屋にすることもできるのである。

Shoji help define space. **Closed**, they create a wall, a barrier, even a room. **Opened**, the wall or room disappears. *Fusuma* (sliding doors) also create space, **bringing** tremendous flexibility to the Japanese interior. Four small rooms separated by 'fusuma' can suddenly become one large room.

- define ~「~(の境界や輪郭)を明確にする」 space「空間」
- create ~ 「~をつくり出す」 barrier「障壁」
- tremendous「とてつもない」 flexibility「柔軟性」
- interior「内部・内装」 separate ~「~を切り離す」
- $\ell.3 \circ Four \ small \ rooms \ separated \ by 'fusuma'$

「襖によって小さく仕切られた4つの部屋」分詞の形容詞的用法である。

リスニング演習

解答 ||||||||

- ① 学校から家に帰る途中 ② ジャックの父は動物が好きではない
- ③ ポスターを作った

@ CD 6

Script)

Keiko and I found a small stray kitten on our way home from school yesterday. It has brown hair and brown eyes. It is very small, so it can't live by itself. I took it home and I'm taking care of it at the moment. But I can't keep a cat at my house because my father doesn't like animals. Keiko can't keep it because she lives in a no-pets-allowed apartment. We made posters to find a new owner for it. Can we put the poster up in the classroom?

昨日学校から家に帰る途中でケイコとぼくは小さな迷子の猫を見つけました。その猫は茶色の毛と茶色の目をしていました。とても小さいので、自力で生きることができません。ぼくは家に連れて帰り、今は世話をしています。しかし、ぼくは家で猫を飼うことができないのです。なぜなら、ぼくの父は動物が好きではないからです。ケイコはペット禁止のアパートに住んでいるのでペットを飼えません。ぼくたちは猫の新しい飼い主を見つけるためにポスターを作りました。教室にポスターを貼ってもいいですか。

- ① ジャックとケイコが猫を見つけたのは, on our way home from school (学校から家に帰る途中) である。
- ② ジャックが猫を飼うことができない理由を書けばよいとわかる。I can't keep a cat at my house because my father doesn't like animals とあるので、because 以下をまとめて、「ジャックの父は動物が好きではない」と書く。日本文は書記が書いたものなので、my father を「わたしの父」としないように注意しよう。
- ③ 空所が含まれる部分は、スピーチの We made posters to find a new owner for it. という 部分に対応する。新しい飼い主を探すためにしたことを空所に入れるので、made posters を 日本語に直し、「ポスターを作った」とする。

添削課題

[1]

- (1) Seeing me, (she smiled.)
- (2) Being very hungry, (Tom ate a lot.)
- (3) Turning there, (you'll see the station.)
- (4) (He entered the college), graduating four years later at the top of the class.

いずれも分詞構文の基本形の作り方でよい。

- ①接続詞を省略
- ②主語を省略
- ③動詞を現在分詞化 (…ing 化) という手順である。

[2]

- (1) 熱があったので、彼女は寝ていた。
- (2) トム・クルーズの大ファンなので、私の姉は至る所に彼のポスターを貼っている。
- (3) その少女は、美しい声で歌いながら私のそばを通り過ぎた。
- (4) アンナはカナダで生まれ、4歳の時にニュージーランドに移り住んだ。
- (5) 学校に行きたくなかったので、彼女は病気のふりをした。
- (6) しばしば顔を合わせていたにも関わらず、その2人は決して親しくならなかった。

- (1) = As (Since, Because) she had a fever, she stayed in bed.
- (2) = As (Since, Because) she is a big fan of Tom Cruise, my sister has posters of him everywhere.
- (3) = The girl passed by me as she sang in a lovely voice.
 - in a ~ voice 「~な声で | pass by ~ 「~とすれ違う;~の傍らを通り過ぎる |
- (4) = Anna was born in Canada, and moved to New Zealand at the age of four.
 - at the age of ~ 「~歳の時に」
- (5) = As [Since, Because] she <u>did not want</u> to go to school, she pretended to be ill. 分詞構文の部分が否定形である点に注意。
 - pretend to be ~ 「~であるふりをする」
- (6) = Though they <u>had met</u> often each other, the two men never became friends. 分詞構文の部分が完了形である点に注意。

[3]

- (1) Listening to the radio, she was washing the dishes.
- (2) Having no imagination, animals often behave far more sensibly than men.
- (3) (The dog,) trained properly, will be a good hunting dog.

(2) ○ far 比較級 than …「…よりもはるかに~な」far は比較級を強調するのに用いる副詞である。

20章 分詞構文②

要点

■確認問題 1

- (1) It being late, we headed home.
- (2) The school being over, most of my friends are out of town.
- (3) There being no reply from him, we assumed that he was not coming.

■確認問題2

- (1) 一般的に言って、ラテン民族は開放的である。
- (2) 厳密に言うと、彼は脚本家であって、小説家ではない。
- (3) あの雲から判断して、もうじき雨になると思う。

■確認問題3

省略

問題

[1]

- (1) Their dog being sick (, they took it to a vet.)
- (2) (Being) Seen from the sky (, the island looks like a heart.)
- (3) The work (having been) done (, they went downstairs for a cup of tea.)
- (4) (The peace talk failed again,) both sides blaming the other for the failure.

- (1) もとの従属節の主語は their dog. 主節の主語は they なので、独立分詞構文にする。
- (2) もとの従属節の主語 it は、主節の主語 the island と同一なので、独立分詞構文にする必要はない。つまり①接続詞を省略し、②主語を省略し、③動詞を現在分詞化 (…ing 化) する、という分詞構文の基本形の作り方でよい。
 - もとの従属節が受動態(つまり動詞部分がく be 動詞+過去分詞…>)で表現されているので、これを現在分詞化するとく being +過去分詞…>となる。ただし過去分詞の前の being は省略するのが普通である。
- (3) もとの従属節が主節よりも明らかに先に生じた内容であり、さらに受動態で表されているので、完了形かつ受動態の分詞構文 < having been + 過去分詞 > となる。ただし、この場合も過去分詞の前の having been は省略するのが普通である。
- (4) 前半の主語は the peace talk, 後半の主語は both sides なので、独立分詞構文にする。
 blame A for B 「A を B のことで非難する」

[2]

解答

- (1) 暗くなってきたので、教師は生徒たちに家に帰りなさいと言った。
 - = As (Since, Because) it was getting dark, the teacher told the students to go home.
- (2) 財布が盗まれたので、彼は警察に行った。
 - = As (Since, Because) his wallet had been stolen, he went to the police.
- (3) 天気がよければ、パレードは予定通りに行われるだろう。
 - = The parade will take place as scheduled, if the weather permits.
- (4) 顔を泥だらけにして、ビルは夕方遅く帰宅した。
 - = Bill came home late in the evening, his face (being) covered with mud.
- (5) ピザとパスタでおなかが一杯で、私はソファに横になっていた。
 - = I lay down on the sofa, my stomach (being) full of pizza and pasta.

- (3) weather permitting は「天候が許すならば」の意味の決まり文句。
 - take place「起こる;行われる」
 - as scheduled「スケジュール通りに」
- (4) 後半部が受動態の表現である点に注意。coveredの手前にbeingを補って考えるとよい。

- be covered with ~ 「~で覆われている |
- (5) 後半部において full の手前に being を補って考えるとよい。このように、<u>受動態の表</u>現の場合の外にも being を省略することがあるので注意しよう。
 - full of ~ 「~でいっぱいで」

[3]

- (1) Considering her age (, her knowledge of mathematics is wonderful.)
- (2) Generally speaking (, the English are more conservative than Americans.)
- (3) Frankly speaking (, this jacket doesn't go well with your shirt.)
- (4) Judging from (his behavior, he is a fine gentleman.)

[4]

- (1) It getting dark, I started for home.
- (2) The program having ended, I turned off the TV.
- (3) The weather getting worse, the party stayed at the camp.
- (4) The town not being familiar to her, she could not find out the appointed place (easily.)
- (5) All things considered, there is very little hope of his (success.)

- (1) get + 形容詞「~になる」
 - start for ~ 「~に向けて出発する |
- (4) 否定形の分詞構文は not …ing となる。
 - be familiar to ~ 「~にとって馴染みがある」
- (5) considered の手前に being を補って考えるとよい。

[5]

解答

- (1) It being Monday, I had a lot of work to do.
- (2) There being no food in the fridge, I had to go shopping.
- (3) Judging from her appearance, she must be a teen (teenager).
- (4) (Being) Compared with my house, his house is much older and bigger.
- (5) It being rainy, I didn't go out.
- (6) There being a lot of people in the park, we couldn't play volleyball.

[6]

記録そのものに見られる筆跡や、絵画における筆遣いの方向といったような証拠から判断す ると、有史以来人間のおよそ10%が左利きであったようだ。

ℓ.1 ○ seem to have +過去分詞「(どうやら) …した〔だった〕らしい;…した〔だった〕 ように思われる」不定詞の完了形が用いられていることに注意。

リスニング演習

- ② 小さく美しい ③ いろいろな [赤. 青. 黄などの] 色 ① ニューギニア
- ④ とても人気があった ⑤ 連れ出すことができません ⑥ 極楽鳥を見に行きたい

Script

Do you know the birds of paradise? They live in the forests of New Guinea. They have small and beautiful bodies. Their feathers are of many colors, such as red, blue, and yellow. Their feathers were once very popular in Europe, so many people caught the birds to get their beautiful feathers. Because people caught too many birds, we can't take them out of New Guinea now. I want to go to New Guinea and see these beautiful birds someday.

あなたは極楽鳥を知っていますか。極楽鳥はニューギニアの森に生息しています。それらは、 小さくて美しい体をしています。羽は、赤、青、黄色など、いろいろな色をしています。極楽 鳥の羽はかつてヨーロッパでとても人気があったので、多くの人々が美しい羽を手に入れるた めに極楽鳥を捕まえました。あまりにも多くの極楽鳥を捕まえすぎたので、今ではニューギニ アから極楽鳥を連れ出すことができません。わたしはいつかニューギニアに行ってこの美しい 鳥を見たいと思っています。

- ① the forests of New Guinea(ニューギニアの森)に住んでいる。
- ② small and beautiful bodies (小さく美しい体) をしている。
- ③ Their feathers are of many colors とあるように、「いろいろな色」をしている。
- ④ Their feathers were once very popular in Europe とあるように, かつてヨーロッパで 「と ても人気があった」。
- ⑤ we can't take them out of New Guinea とあるように、ニューギニアから極楽鳥を「連れ 出すことができない」。
- ⑥ I want to go to New Guinea and see these beautiful birds とあるように、ニューギニア に「極楽鳥を見に行きたい」。

添削課題

[1]

- (1) It being a hot day (, he went swimming.)
- (2) The sun having set (, it got cooler.)
- (3) There being no answer (, I rang the bell again.)
- (4) (The car turned over,) its driver (being) thrown out.

- (1) もとの従属節の主語は it (「天候・寒暖」を示す), 主節の主語は he なので, 独立分 詞構文にする。
- (2) もとの従属節の主語は the sun, 主節の主語は it (「天候・寒暖」を示す) なので, 独立分詞構文にする。もとの従属節が完了時制なので, 完了形の分詞構文 < having +過去分詞>にする。
 - set 「(太陽が) 沈む」
- (3) 従属節の主語は there (正確には there は副詞に過ぎず、主語は no answer だが、「存在文」の場合はこの副詞 there を主語的に扱う)、主節の主語は I なので、独立分詞構文にする。
- (4) 前半の主語は the car, 後半の主語は its driver なので、独立分詞構文にする。 後半は受動態の表現なので受動態の分詞構文 < being + 過去分詞 > となる。このとき being は省略するのが普通である。
 - turn over「ひっくり返る」
 - throw out ~ 「~を放り出す |

[2]

- -解答 |||||||

- (1) There being no player at home, (I can't listen to the CD.)
- (2) Judging from his appearance, he must be rich.
- (3) The camera being damaged beyond repair, we had to abandon (it.)
- (4) The choice once made, you have only to carry it (out.)
- (5) (There were) no actresses in Shakespeare's days, women's parts being played by boys.

一解説

- (3) beyond repair「修理できないくらい〔←修理を越えて〕」
- (4) made の手前に having been を補って考えるとよい。
 - make a choice 「選択する |
 - have only to 動詞の原形「…しさえすればよい」
 - carry ~ out「~を実行する」
- (5) play a part「役を演じる」

[3]

- (1) My watch (having been) broken, I went to the shop to get [have] it repaired.
- (2) (Being) Surprised at the news, Tom couldn't speak for a while.
- (3) My sister having bought two tickets, I am going to go to the concert with her.
- (4) Jane, hearing the song, asked me who the singer was (who was singing).

- (1) get [have] + O + 過去分詞「Oを…してもらう」
- (4) 「歌っているのは誰か」の部分は間接疑問のかたちで表現されることに注意。疑問詞 who 以下は平叙文の語順・語形となる。

3EJS/3EJ 中3英語 中3東大英語



会員番号 氏 名